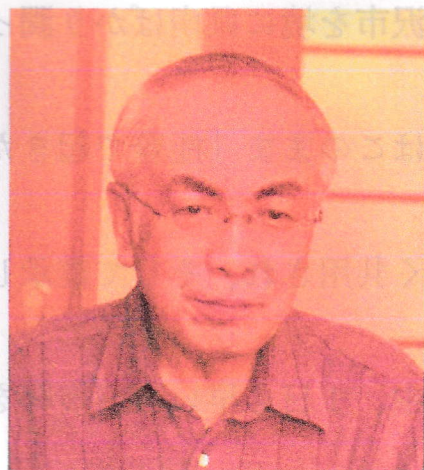


『号外』 / 『能登半島地震から5ヵ月余りを経て』 /

『あんな遠くの地震が』 / 『作詞家：久仁京介の世界』へようこそ。



「久仁京介かこむ会」

筆頭副会長 白根幹夫

新聞の一面には右上に通し番号があります。

臨時の場合は番号がないので、「号外」という。

「号外」を出すほど急ぎのニュースはそう頻繁にはない。

ところが昨年3月まで大学生だった23歳の若武者が「号外」級の快挙をやったのけた。

大相撲夏場所で優勝した石川県津幡町出身の新小結、大の里がわずか7場所で12勝3敗で最速初優勝を果たした。本人も地元とは言え、北國新聞（ほっこくしんぶん）の「号外」には驚いたかも知れないが価値は大いにある。

快進撃はふるりの津幡町を沸かせ「能登半島地震」の被災地に元気をもたらした地震の年に優勝をしたのも何かの巡り合わせだろう。歩みを止めずさらに前へ。その一步一步が能登・石川を励ます「大きな力」となる。脇目を振らず精進すれば、次の「号外」発行は遠くない気がします。

「もう大丈夫なんだよね？」県外の知人の言葉に驚いた。

旅行割りも相俟って外国からの人も含めて観光客であふれかえる金沢市内の様子から、まだ通水もままならない被災地の存在を想像するのは確かに難しいかも知れない。